

## 看護師の時間外労働に関する 文献レビュー

吉本和樹、野田龍也、今村知明  
奈良県立医科大学健康政策医学講座

1

## 背景

毎年多くの看護師が離職していくため、日本における看護師不足の状況は深刻である。この看護師不足の要因の一つに、看護師の時間外労働が関係しているのではないだろうか。なお、国内においては、看護師の時間外労働と離職の関係に焦点を絞った研究はみあたらなかった。

2

## 目的

海外での看護師の時間外労働についての研究を分析し、日本での時間外労働に関する研究の基礎資料とすることを目的とした。

3

## 方法

PubMedにて、検索語句「nurse」「work」「overtime」「overwork」で検索した。「overtime」のみでは1492件、「overwork」のみでは358件、「overtime」「work」では522件であった。その中で、①「nurse」「overtime」は273文献であった。②「nurse」「overwork」は38文献であった。

①、②の中から看護師の時間外労働について述べている文献を12文献に絞り込み、内容を検討した。

4

## 時間外労働の実態に関する研究

Trinkoff A (2006) らは、アメリカで2千人規模の看護師の労働状況の調査を行っている。その結果、約25%の看護師が1日に12時間以上働いており、約33%の看護師は、連続で六日間勤務する経験をしており、約17%の看護師は、命令残業をしていることを明らかにしている。

Trinkoff A, Geiger-Brown J, Brady B, Lipscomb J, Muntaner C. How long and how much are nurses now working? The American journal of nursing. 2006;106(4):60-71, quiz 2.

5

## 交代制勤務に関する研究

Josten EJ (2003) らは、オランダでは8時間と9時間の交代制勤務をする看護師とを比較すると、9時間勤務のほうがより疲労感を感じ、健康に不満を持っていると述べている。

Ball (2013) らは、イギリスにおいて交代制勤務で働く看護師は、時間に追われて仕事をすると、必要な看護ケアが忘れられてしまうことが明らかになったと報告している。

Josten EJ, Ng ATJE, Thierry H. The effects of extended workdays on fatigue, health, performance and satisfaction in nursing. Journal of advanced nursing. 2003;44(6):643-52.

Ball JE, Murrells T, Rafferty AM, Morrow E, Griffiths P. 'Care left undone' during nursing shifts: associations with workload and perceived quality of care. BMJ quality & safety. 2013.

6

## 時間外労働と患者ケアに関する研究

Rogers AE (2004) らは、アメリカにおいて、看護師がエラーを起こすリスクは12時間以上の時間外労働において上昇すると述べている。

Stone PW (2007) らは、アメリカにおいて高い人員配置率を持つ救急病棟のほうが、低い人員配置をしている病棟よりも人工呼吸器関連肺炎や30日死亡率が低く、より患者の安全を推進できると述べられている。そして、時間外労働の増加とバルーンカテーテル患者の尿路感染率が関連していることを述べている。

Rogers AE, Hwang WT, Scott LD, Aiken LH, Dinges DF. The working hours of hospital staff nurses and patient safety. Health affairs (Project Hope). 2004;23(4):202-12.

Stone PW, Mooney-Kane C, Larson EL, Horan T, Glance LG, Zwanziger J, et al. Nurse working conditions and patient safety outcomes. Medical care. 2007;45(6):571-8.

7

## 時間外労働と看護師不足についての研究

Trinkoff (2010) らは、アメリカでの研究で看護師にとってのマグネットホスピタルとは、命令残業や呼び出しなどが少ないことが関係していることを示唆している。

Drebit S (2010) らは、イギリス、アメリカ、カナダにおいて、急性期病院での雇用条件とコスト計算の研究をしている。フルタイム労働者を増やし、残業の負担を減らすことがカナダの看護師不足を緩和するのではないかと述べている。

Trinkoff AM, Johantgen M, Storr CL, Han K, Liang Y, Gurses AP, et al. A comparison of working conditions among nurses in Magnet and non-Magnet hospitals. The Journal of nursing administration. 2010;40(7-8):309-15.

Drebit S, Ngan K, Hay M, Alamgir H. Trends and costs of overtime among nurses in Canada. Health policy (Amsterdam, Netherlands). 2010;96(1):28-35.

8

## 時間外労働規制に関する研究

Bae SHは、2010年から2013年まで、アメリカにおける看護師の時間外労働について5つの研究を発表している。アメリカでは州によって、時間外労働を規制している州と規制がない州があり、2012年の研究において、時間外労働の規制がない病院よりも規制のある病院のほうが慢性的に看護師不足を経験していると述べている。

Bae SH, Brewer C. Mandatory overtime regulations and nurse overtime. Policy, politics & nursing practice. 2010;11(2):99-107.

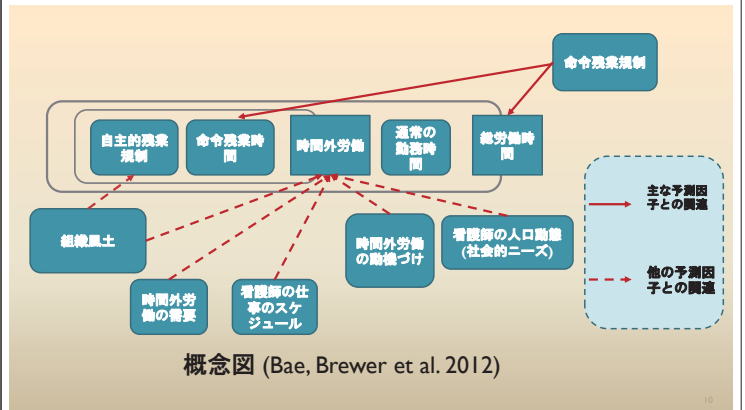
Bae SH. Nurse overtime, working conditions, and the presence of mandatory nurse overtime regulations. Workplace health & safety. 2012;60(5):205-14.

Bae SH. Nursing overtime: why, how much, and under what working conditions? Nursing economic\$. 2012;30(2):60-71; quiz 2.

Bae SH, Brewer CS, Kovner CT. State mandatory overtime regulations and newly licensed nurses' mandatory and voluntary overtime and total work hours. Nursing outlook. 2012;60(2):60-71.

Bae SH. Presence of nurse mandatory overtime regulations and nurse and patient outcomes. Nursing economic\$. 2013;31(2):59-68, 89; quiz 69.

9



概念図 (Bae, Brewer et al. 2012)

10

## 考察

交代制勤務において、1勤務で8時間を超えると看護師は疲労感や健康に対して不安を感じるようになることや、看護師の時間外労働が多い病院ほど、患者に対するケアの質が担保できなくなるという研究結果は、国内外問わず看護師の労働環境について考える際に共有可能な結果であると思われる。

11

アメリカでは、時間外労働を州の法律で規制している州と規制がない州が存在するのだが、Baeは週の労働時間を規制してしまうと、結局、仕事が残ってしまうことについて述べている。時間外労働を法律で規制しても、すべき仕事を減らせることではないため、自主的な残業をせざるをえない状態になっている可能性が示唆される。



時間外労働を減らすためには、人員を増やすしかないのではないだろうか

12

## まとめ

### 看護師の労働環境を整備する

1. 長時間労働をすると精神面・身体面で体を壊す可能性が高くなるなどの健康被害がある



- ・健康管理が重要であるということを見守りに教育していく必要がある。

- ・病院の管理者は患者にとって十分なケアをするために看護師が能力を発揮できる環境づくりが必要である

13

2. 看護業務をしている現場で管理者が時間外労働をしないように看護スタッフに訴えたとしても、患者への看護など、看護師としてすべき仕事が減るわけではない



- ・時間外労働が常態化している病院は、人員を増やすなどをして、看護師一人当たりの一日の業務量を減らすことも考慮していく必要があるのではないだろうか

14

ご清聴ありがとうございました

15